

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会 議 名	平成 25 年度第 1 回 第 4 分科会（教育分野）				
日 時	平成 25 年 10 月 2 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 4 時				
場 所	江南市民体育会館 2 階 第 4 会議室				
出席者	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; width: 100px;">市民委員</td> <td>梶田 福好、川口 邦彦、柴田 熙、森崎 芳子、伊藤 鶴吉、津田 喜代治、水野 勲</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0;">市職員</td> <td>武馬 健之、天野 功、伊神 真一、伊藤 健司</td> </tr> </table>	市民委員	梶田 福好、川口 邦彦、柴田 熙、森崎 芳子、伊藤 鶴吉、津田 喜代治、水野 勲	市職員	武馬 健之、天野 功、伊神 真一、伊藤 健司
市民委員	梶田 福好、川口 邦彦、柴田 熙、森崎 芳子、伊藤 鶴吉、津田 喜代治、水野 勲				
市職員	武馬 健之、天野 功、伊神 真一、伊藤 健司				
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度のまちづくり会議について 2. まちづくり評価について 3. 江南市戦略計画の見直しについて 4. 委員及び市職員の紹介 5. まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて 6. 第 2 回の会議日程について 				
資 料	<p>資料 1 江南市まちづくり会議委員名簿</p> <p>資料 2 まちづくり評価について</p> <p>資料 3 「江南市戦略計画」見直しの考え方について</p> <p>資料 3 別紙 1 目標フレーム見直しの考え方</p> <p>資料 3 別紙 2 新たな環境変化</p> <p>資料 4 まちづくり会議のスケジュール</p> <p>資料 5 まちづくり評価</p> <p>資料 6 戦略計画見直し作業結果シート</p> <p>資料 7 江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査報告書</p>				

◆ 会 議 結 果 ◆

1. 今年度のまちづくり会議について

- ・経営企画部長より、今年度のまちづくり会議について、資料に基づき、まちづくり会議の目的、役割、今後のスケジュールについて説明がありました。

2. まちづくり評価について

- ・行政経営課主幹より、資料 2 に基づき、まちづくり評価について説明がありました。

3. 江南市戦略計画の見直しについて

- ・行政経営課企画政策グループリーダーより、資料 3 に基づき、江南市戦略計画の見直しについて説明がありました。

4. 委員の自己紹介

- ・各種団体の代表者で変更のあった委員及び 4 月の人事異動により変更のあった市職員の委員について、事務局より紹介がありました。

5. まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて

〔柱 1〕 地域に開かれた快適で安全な学校づくり

- ・資料 5、6 に基づき、委員（教育課長）より説明がありました。

〔まちづくり評価関係〕

【個別目標②】学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性がはぐくまれている

- ・職場体験でのお礼の意味を込めて、特産品のカーテンなどを送るというのもこれからも協力していこうという気持ちになるのではないかと意見がありました。
- ・学校評議員とはどのような組織なのか、委員を公募制にしたと聞いているが、どのような状況なのか、学校ごとの評議員会の実施状況はどうかとの質問があり、学校評議員は、学校ごと5名程度の委員を校長から推薦していただき、教育委員会が委嘱しています。平成24年度からは公募制も導入し、3名の方に委嘱しました。公募については、希望される方が活躍したい学校あてに小論文を提出していただき、その方も含め、各学校において適切な方を推薦していただいています。平成25年度も3名の方に委嘱しています。学校評議員は、校長の諮問機関として、学校運営について各自が意見を述べており、合議制ではないためいろいろな意見を校長が参考にして方針を決め、開かれた学校づくりを推進しています。なお、開催は年2～3回ほど行っていますとの説明がありました。
- ・先生方と保護者が勉強し合えるような機会をつくることはできないでしょうかという意見がありました。
- ・定年退職した年配の方等で自主的に地域の子どもを見守るようなボランティアを募ってはどうかという意見がありました。

【個別目標③】バランスのとれた給食や食育の実施により、子どもたちが正しい食習慣を身につけ健康に育っている

- ・地場産物が給食でどのようなものがどれくらい使われているのか教えてほしいとの質問があり、地場産物の割合は、愛知県の施策で目標値を35%としています。越津ねぎや小松菜などの江南市産を優先した愛知県産の地産地消を推進しており、平成24年度は目標を上回ることができました。学校給食センターでは1日約9,000食を調理しており、数量の確保が必要なことから、すべてというわけにはいきませんが、可能な限り、地産地消を進めてまいりますとの説明がありました。
- ・地産地消の意義を子どもたちに伝えてほしいがどうかとの質問があり、栄養士が食育授業を行っており、地産地消についてエネルギーのロスが少ない等のメリットを伝えていきますとの説明がありました。
- ・朝食を食べてこないことは家庭の問題であるように思うがどうかとの質問があり、保護者への指導についてはPTA総会における指導やチラシの配付などで対応していますが、親の食生活が現代風になっていることで非常に難しい問題になっており、今後も継続的に指導していく必要があると考えていますとの説明がありました。

【柱2】将来にわたって活躍できる人づくり

- ・資料5、6に基づき、委員（教育課長）より説明がありました。

【まちづくり評価関係】

【個別目標②】子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子どもたちが育っている

- ・資料5の9ページ個別目標②について不登校の中学生の実績値が平成23年度と平成24年度が同じだが、どのような対策を行っているのかとの質問があり、学校現場におけるいじめ対策としては、医師会、児童相談センター、保健所、適応指導教室、小中学校の生徒指導、養護教諭の代表などから構成された「いじめ・不登校対策協議会」が担っており、その下部組織である「いじめ・不登校対策研究会」では、4つの部会（事例検討部会・啓発広報部会・調査研究部会・小中連携部会）に小中学校の教諭が属し、根本的な原因と実態を探るとともに研究を行っていますとの説明がありました。
- ・中学生のいじめ対策は難しい、ボランティアとしていじめ被害の経験者を招いて、学校で話してもらおうということもいいのではないかと意見がありました。

6. 第2回の会議日程について

- ・第2回の会議日程について、次のとおり決定しました。

<第2回> 平成25年10月16日(水) 午後5時30分～ 市役所 大会議室

7. その他

- ・柴田分科会長、森崎副分科会長、教育課長に、11月18日開催予定のまちづくり会議(全体会議)への出席のお願いが事務局からありました。
- ・柴田分科会長へ1月から2月にかけて行う住民説明会への出席のお願いが事務局からありました。